

**M O L**

# 2021年度（2022年3月期） 第3四半期 決算説明資料

2022年1月31日  
株式会社商船三井



# 目次

1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要	P3-4
2. 2021年度 第3四半期 連結決算の要点	P5-6
3. 2021年度 連結業績予想	P7-8
4. 2021年度 業績予想の要点	P9-10
5. (参考) 今年度の取り組み状況・進捗	P11
6. (参考) グループ会社2社の完全子会社化について	P12
7. 補足資料 1-7	P13-19

(註)金額は億円未満を切り捨て表示

本資料に記載されている当社の業績に関する予想及び見通しは現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確実性を含んでいます。このため実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性があることをご承知おきの上、投資に関する決定についてはご自身の判断で行われるようお願い致します。

# 1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要

(単位: 億円)	2021年度 実績				2020年度 実績				増減	
	1Q	2Q	3Q	4-12月実績	1Q	2Q	3Q	4-12月実績		
売上高	2,888	3,082	3,314	9,285	2,514	2,332	2,469	7,316	+1,968	+27%
営業損益	80	123	220	424	△ 51	9	31	△ 10	+434	-
事業損益 (註1)	993	1,647	2,088	4,728	34	229	354	618	+4,109	+664%
経常損益	1,042	1,675	2,158	4,876	73	253	402	729	+4,147	+568%
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,041	1,707	2,123	4,871	54	247	341	644	+4,227	+656%
為替 (註2)	¥108.77/\$	¥110.05/\$	¥112.72/\$	¥110.51/\$	¥108.11/\$	¥106.62/\$	¥104.86/\$	¥106.53/\$	+¥3.98/\$	+4%
燃料油単価(全油種) (註2・3)	\$497/MT	\$530/MT	\$588/MT	\$539/MT	\$255/MT	\$335/MT	\$347/MT	\$315/MT	+\$225/MT	+71%

(註1) 営業損益 + 持分法投資損益

(註2) 期中平均

(註3) 平均補油単価

# 1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要 (セグメント別)

		上段		売上高							
		下段		経常損益							
		2021年度 実績				2020年度 実績				増減	
(単位: 億円)		1Q	2Q	3Q	4-12月実績	1Q	2Q	3Q	4-12月実績		
ドライバルク事業	ドライバルク船	783	903	991	2,678	576	528	523	1,627	+1,050	+65%
	(石炭船除く)	65	77	175	319	4	△ 4	12	12	+307	+2,550%
エネルギー・海洋事業	油送船、石炭船、LNG船、	688	737	752	2,178	775	700	662	2,137	+41	+2%
	海洋事業、風力エネルギー	43	65	73	182	84	119	62	265	△83	△ 31%
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、	1,178	1,203	1,310	3,693	926	866	1,048	2,840	+852	+30%
	フェリー・内航RORO船	901	1,511	1,888	4,301	△ 33	126	307	400	+3,900	+973%
うち、コンテナ船事業		643	636	697	1,978	510	515	547	1,572	+405	+26%
		906	1,491	1,852	4,251	59	177	296	533	+3,717	+697%
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	196	204	218	619	198	200	194	592	+26	+5%
		23	19	27	71	26	22	26	75	△3	△ 5%
その他		40	33	40	114	37	39	41	118	△3	△ 3%
		8	9	6	24	6	3	14	23	+1	+5%
調整 (消去・全社)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		△ 1	△ 8	△ 13	△ 22	△ 14	△ 13	△ 20	△ 47	+24	-
連結		2,888	3,082	3,314	9,285	2,514	2,332	2,469	7,316	+1,968	+27%
		1,042	1,675	2,158	4,876	73	254	402	729	+4,147	+568%

(注)「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

## 2. 2021年度 第3四半期 連結決算の要点 ( I )

### 【概況・ダイジェスト】

- ◆ 売上高 : 前年同期比1,968億円の増収。ドライバルク船の好市況、製品輸送事業の輸送・取り扱い量回復等が寄与。
- ◆ 事業利益／経常利益 : 前年同期比4,109億円／4,147億円の大幅増益。
- ◆ 増益要因 : コンテナ船における旺盛な荷動き需要や供給面の制約に伴う短期運賃市況上昇による大幅な増益に加え、ドライバルク船の好市況、自動車船の輸送台数回復により大幅に損益改善。

### 【セグメント別】 [21年度3Q累計経常損益実績(前年同期比増減)]

#### ドライバルク事業 [ 319億円 (+ 307億円) ]

- 鉄鋼原料船 (ケープサイズバルカー) : 堅調な鉄鋼原料輸送需要と新型コロナ対策等に伴う船腹供給制限を背景にケープサイズの市況が比較的高レベルで推移した結果、前年同期比で大幅増益。
- 商船三井ドライバルク (中小型バルカー、木材チップ船) : 中小型バルカーにおける穀物・石炭などを中心とする堅調な輸送需要による好市況の継続に加え、木材チップ輸送需要の回復を受け、損益改善。
- その他 (オープンハッチ船) : 紙パルプ等の荷動き回復、バルカー市況・荷動きの好影響により、オープンハッチ船も損益改善。

#### エネルギー・海洋事業 [ 182億円 (-83億円) ]

##### ■ 油送船

- 原油船 : 新型コロナ感染や協調減産の継続が原油輸送需要の回復の足かせとなり、市況低迷が継続。大半を占める中長期契約で利益を確保するも、前年同期比で減益。
- その他 : 中長期契約を主体とするLPG船、メタノール船で着実に利益を確保する一方、石油製品・ケミカル輸送は新型コロナやハリケーン等による輸送需要の低迷を受け、プロダクト船、ケミカル船は損益悪化。

## 2. 2021年度 第3四半期 連結決算の要点 (Ⅱ)

### ■ LNG船・海洋事業

- LNG船は、第3四半期中にLNG燃料供給船 1 隻が新たに竣工し、既存の長期契約と合わせ安定的に利益を確保。海洋事業は、FPSOが順調に稼働し、利益貢献。FSRUはセネガル発電船向けに 1 隻投入されるも、既存船 1 隻 (MOL FSRU Challenger) が今年度は契約の端境期のため減益。

### 製品輸送事業 [4,301億円 (+3,900億円) ]

#### ■ コンテナ [4,251億円 (+3,717億円) ]

- ONE : 旺盛な荷動き需要は継続するも、サプライチェーン全体の混乱が継続したことにより、第3四半期の積高は前年同期比で減少。運賃市況は、想定を上回る水準で推移し、第2四半期からさらに上昇。スケジュール維持および港湾や内陸混雑等のため追加費用が発生するも、前年同期比で大幅な増益。
- その他 (ONE以外) : 港湾・ロジスティクス事業は、取り扱い量の回復により、前年同期比で増益。

#### ■ 自動車船

新型コロナ影響により大幅な輸送台数減となった前年同期比では、半導体不足等の影響はありながらも全体として荷動きの回復および前年度に実施した船腹削減が奏功し、損益は大幅に改善。

#### ■ フェリー・内航RORO船

貨物輸送需要は堅調に推移するも、新型コロナ影響による低調な旅客需要と燃料コスト上昇により、損益悪化。

### 関連事業 [71億円 (-3億円) ]

- 不動産事業は、安定的に利益を確保。客船事業は、春先と秋以降にクルーズ再開するも本格稼働には至らず損益悪化。

# 3. 2021年度 連結業績予想

\* 2021年度2Q決算発表時（2021年10月29日）の予想

(単位: 億円)	2021年度							2020年度	増減
	上期 実績	下期 見通し		通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異	通期実績		
		3Q実績	4Q見通し						
売上高	5,970	3,314	3,315	6,629	12,600	12,200	+400	9,914	+2,685
営業損益	203	220	115	336	540	450	+90	△53	+593
事業損益 (註1)	2,640	2,088	1,571	3,660	6,300	4,650	+1,650	1,276	+5,023
経常損益	2,718	2,158	1,623	3,781	6,500	4,800	+1,700	1,336	+5,163
親会社株主に帰属する 当期純損益	2,748	2,123	1,428	3,551	6,300	4,800	+1,500	900	+5,399
為替 (註2)	¥109.41/\$	¥112.72/\$	¥115.00/\$	¥113.86/\$	¥111.63/\$	¥109.70/\$	+¥1.93/\$	¥105.95/\$	+¥5.68/\$
燃料油単価(全油種) (註2・3)	\$514/MT	\$588/MT	-	-	-	-	-	\$355/MT	-
燃料油単価(HSFO) (註2・3)	-	-	\$510/MT	-	-	-	-	-	-
燃料油単価(VLSFO) (註2・3)	-	-	\$670/MT	-	-	-	-	-	-

【cf】前年度実績	上期	下期		通期	
		3Q	4Q		
売上高	4,846	2,469	2,597	5,067	9,914
営業損益	△42	31	△42	△10	△53
事業損益 (註1)	264	354	657	1,011	1,276
経常損益	327	402	606	1,008	1,336
親会社株主に帰属する 当期純損益	302	341	256	598	900

為替 (註2)	¥107.37/\$	¥104.86/\$	¥104.20/\$	¥104.53/\$	¥105.95/\$
燃料油単価(全油種) (註2・3)	\$296/MT	\$347/MT	\$465/MT	\$407/MT	\$355/MT

(参考) 経常損益へのSensitivity	
2021年度 為替 (註4):	±40.5億円/¥1/\$ (残り3ヶ月間)
燃料油単価:	±0.0億円/\$1/MT (残り3ヶ月間)
(註4) 今回よりONE社の通期持分法損益に係る為替変動を含む	

(註1) 営業損益 + 持分法投資損益

(註2) 期中平均

(註3) 平均補油単価

### 3. 2021年度 連結業績予想 (セグメント別)

上段	売上高
下段	経常損益

\* 2021年度2Q決算発表時 (2021年10月29日)の予想

(単位: 億円)		2021年度						2020年度	増減	
		上期実績	下期		通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異	通期実績		
			3Q実績	4Q見通し						見通し
ドライバルク事業	ドライバルク船	1,687	991	921	1,912	3,600	3,700	△100	2,220	+1,379
	(石炭船除く)	143	175	100	276	420	390	+30	△42	+462
エネルギー・海洋事業	油送船、石炭船、LNG船、 海洋事業、風力エネルギー	1,426	752	721	1,473	2,900	2,700	+200	2,788	+111
		109	73	47	120	230	215	+15	297	△67
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、 フェリー・内航RORO船	2,382	1,310	1,406	2,717	5,100	4,820	+280	3,951	+1,148
		2,413	1,888	1,478	3,366	5,780	4,140	+1,640	1,026	+4,753
	うち、コンテナ船事業	1,280	697	721	1,419	2,700	2,500	+200	2,194	+505
		2,398	1,852	1,448	3,301	5,700	4,100	+1,600	1,171	+4,528
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	401	218	230	448	850	830	+20	789	+60
		43	27	8	36	80	75	+5	94	△14
その他		73	40	35	76	150	150	0	163	△13
		18	6	5	11	30	20	+10	26	+3
調整 (消去・全社)		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		△9	△13	△17	△30	△40	△40	0	△66	+26
連結		5,970	3,314	3,315	6,629	12,600	12,200	+400	9,914	+2,685
		2,718	2,158	1,623	3,781	6,500	4,800	+1,700	1,336	+5,163

【cf】前年度実績	上期	下期		通期		
		3Q	4Q			
ドライバルク事業	ドライバルク船	1,104	523	592	1,116	2,220
	(石炭船除く)	△0	12	△54	△42	△42
エネルギー・海洋事業	油送船、石炭船、LNG船、 海洋事業、風力エネルギー	1,475	662	651	1,313	2,788
		203	62	32	94	297
製品輸送事業	自動車船、コンテナ船事業、 フェリー・内航RORO船	1,792	1,048	1,110	2,159	3,951
		93	307	625	933	1,026
	うち、コンテナ船事業	1,025	547	621	1,169	2,194
		236	296	637	934	1,171
関連事業	不動産、曳船、商社、客船等	398	194	196	391	789
		48	26	19	45	94
その他		76	41	45	87	163
		9	14	2	17	26
調整 (消去・全社)		-	-	-	-	-
		△27	△20	△18	△39	△66
連結		4,846	2,469	2,597	5,067	9,914
		327	402	606	1,008	1,336

(註) 「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示



## 4. 2021年度 業績予想の要点 ( I )

### 【概況・ダイジェスト】

- ◆ 売上高 : 12,600億円 (前回見通し比、400億円上方修正)
- ◆ 事業利益／経常利益 : 6,300億円／6,500億円 (前回見通し比、1,650億円／1,700億円上方修正)
- ◆ 上方修正の要点 : コンテナ船事業において季節要因とサプライチェーン混乱の継続による積高の減少を見込むも、運賃水準の下落は限定的と想定し、通期見通しを上方修正。ドライバルク船および自動車船も3Q実績を踏まえ見通しを上方修正。

### 【セグメント別】 [21年度通期経常損益予想 (前回10/29発表値からの増減) ]

#### ドライバルク事業 [ 420億円 (+ 30億円) ]

- 鉄鋼原料船 (ケープサイズバルカー) :  
足下の市況およびブラジル・豪州からの季節要因による出荷減を踏まえ、4Qの市況想定を下方修正するも影響は限定的。  
3Qの業績上振れも踏まえ、通期増益見通し。
- 商船三井ドライバルク (中小型バルカー、木材チップ船) :  
中小型バルカーも4Qの市況想定は前回発表から下方修正するも、木材チップ船の損益改善と合わせ、通期増益見通し。
- その他 (オープンハッチ船) : 紙パルプ輸送需要と復航における一般バルカー荷動き・市況の好影響により、収益改善見通し。

#### エネルギー・海洋事業 [ 230億円 (+ 15億円) ]

##### ■ 油送船

- 原油船 : 石油需要回復の遅れや協調減産継続により、市況低迷の継続を想定するも、見通しへの影響は限定的。
- その他 : LPG船・メタノール船は前年度並み利益を見込むも、石油製品・ケミカル船は、輸送需要低迷により減益見通し。

## 4. 2021年度 業績予想の要点 (Ⅱ)

### ■ LNG船・海洋事業

- LNG船 : LNG船1隻とLNG燃料供給船1隻が竣工、前年度竣工の5隻と合わせ安定利益を積み増し。
- 海洋事業 : FSRU1隻とFPSO 1隻が新たに長期契約に投入され、既存の契約基盤と合わせ、前期並みの損益見通し。

### 製品輸送事業 [ 5,780億円 (+1,640億円) ]

#### ■ コンテナ船事業 [ 5,700億円 (+1,600億円) ]

- ONE : 3Qの業績上振れに加え、4Qにおいても季節要因による輸送需要減およびサプライチェーン混乱の継続による供給面の制約から積高の減少を見込むも、運賃水準の下落は限定的と想定し、通期見通しを上方修正。
- その他 : 港湾・ロジスティクス事業は、好調な荷動きに伴う取り扱い量増加により、増益見通し。

#### ■ 自動車船

半導体不足や新型コロナ感染再拡大に伴う部品を含めた出荷への影響懸念があるものの、4Qにおいても輸送台数の回復基調の継続および、前年度に実施した減船効果、運航効率改善等により、増益見通し。

#### ■ フェリー・内航RORO船

貨物輸送需要は堅調な推移を想定。旅客需要は新型コロナによる行動制限が懸念されるも見通しへの影響は限定的。

### 関連事業 [ 80億円 (+5億円) ]

- 不動産事業は安定的に利益貢献。客船は、9月にクルーズ再開するも新型コロナ対策継続により前年比で損益悪化。

**【配当】** 期末配当750円（前回発表500円）、通期で1株当たり1,050円（前回発表800円）を予定。

[参考：中間配当300円を実施済み]

## 5. (参考) 今年度の取り組み状況・進捗

日付	当社取り組みなど	開示資料 URL
4月1日	企業理念、グループビジョン、価値観・行動規範（MOL CHART「S」）の改訂	<a href="#">URL</a>
4月30日	経営計画「ローリングプラン2021」発表（骨子は4/5に発表）	<a href="#">URL</a>
6月18日	「商船三井グループ 環境ビジョン2.1」を発表	<a href="#">URL</a>
7月27日	洋上風を船舶の推進力に活用する新たな省エネ技術の共同開発へ	<a href="#">URL</a>
9月2日	カムチャッカおよびムルマンスクにおける世界最大級の浮体式LNG貯蔵設備（FSU）案件に関し、ロシア国営リース会社GTLKと基本合意書を締結	<a href="#">URL</a>
11月4日	アンモニアを燃料とした「大型アンモニア輸送船」の開発に着手	<a href="#">URL</a>
11月4日	液化CO2輸送船のコンセプトスタディを完了	<a href="#">URL</a>
12月1日	「公益信託 商船三井モーリシャス自然環境回復保全・国際協力基金」を設立	<a href="#">URL</a>
1月12日	中国海洋石油集団（CNOOC）向け新造LNG船6隻の長期定期貸船契約を締結	<a href="#">URL</a>
1月19日	ダイビル、宇徳に対する公開買付け成立を発表	<a href="#">URL</a> <a href="#">URL</a>
1月24日	世界経済フォーラム 企業向けの非財務情報開示・報告ガイドライン「Stakeholder Capitalism Metrics」に賛同	<a href="#">URL</a>
1月25日	世界初、商業運航コンテナ船の無人運航実証実験に成功！	<a href="#">URL</a>

## 6. (参考) グループ会社2社の完全子会社化について

グループ経営の強化により、海運業にとどまらない社会インフラ事業をグローバルに展開し、更なる企業価値を創造します。

- グループネットワークを活かしたダイビル海外不動産事業拡大
- 不動産事業の安定収益によるグループ信用力の向上

**MOL** 商船三井



- 物流事業の共同展開による収益力強化
- 商船三井グループ顧客が持つより広範な物流ニーズの取り込み



**①** **ダイビル株式会社**

グループ・シナジー  
効果の最大化



**株式会社 宇徳**  
**UTOC** UTOC CORPORATION

- 物流施設投資を通じたグループポートフォリオの拡大

# ドライバルク船市況 (スポット傭船料)

[補足資料1]

## 1. 2020年度(実績)

(単位: US\$/日)

船型	2020年度						通期
	上期			下期			
当社(単体)及び商船三井ドライバルク運航船に関わる市況	2020年4-9月			2020年10月-2021年3月			平均
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
ケープサイズ	10,400	20,800	15,600	16,900	17,100	17,000	16,300
パナマックス	6,200	11,800	9,000	10,700	17,200	13,950	11,475
ハンディマックス	5,600	9,900	7,800	10,700	16,600	13,650	10,700
ハンディサイズ	3,300	7,200	5,300	9,200	14,600	11,900	8,575
海外子会社運航船に関わる市況	2020年1-6月			2020年7-12月			平均
	1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
ケープサイズ	4,600	10,400	7,500	20,800	16,900	18,900	13,200

## 2. 2021年度(実績・見通し)

(単位: US\$/日)

船型	2021年度						通期
	上期			下期			
当社(単体)及び商船三井ドライバルク運航船に関わる市況	2021年4-9月			2021年10月-2022年3月			平均
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
ケープサイズ	31,100	42,400	36,800	42,600	15,000	28,800	32,800
パナマックス	24,700	32,300	28,500	29,300	27,000	28,200	28,300
ハンディマックス	25,500	34,300	29,900	30,500	22,000	26,300	28,100
ハンディサイズ	20,500	32,200	26,400	31,400	20,000	25,700	26,000
海外子会社運航船に関わる市況	2021年1-6月			2021年7-12月			平均
	1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
ケープサイズ	17,100	31,100	24,100	42,400	42,600	42,500	33,300

(註)

- 1) 黒字は一般市況実績。
- 2) 青字は見通し。見通しは、フリー船（スポット契約や2年未満の短期契約に従事）の損益予想において参照する市況水準。但し、荷主と運賃を合意済みの場合は合意運賃を損益予想に反映。
- 3) 海外子会社運航船については、暦年ベース（1-12月）の市況実績・見通しを表示。（海外子会社は12月決算であり、3カ月遅れで当社連結決算に計上される為。）
- 4) ケープサイズは5航路（2014年度通期決算発表より変更）、パナマックスは4航路、ハンディマックスは5航路、ハンディサイズは6航路の平均。

# 油送船市況（スポット傭船料換算）

[補足資料2]

## 1. 2020年度(実績)

(単位：US\$/日)

船型	対象航路	2020年度						通期
		上期			下期			
当社（単体）運航船に関わる市況		2020年4-9月			2020年10月-2021年3月			平均
		4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
原油船（VLCC）	中東-極東	92,900	19,900	56,400	10,300	-1,300	4,500	30,500
石油製品船（MR）	主要5航路	25,200	7,500	16,400	6,900	5,700	6,300	11,300
海外子会社運航船に関わる市況		2020年1-6月			2020年7-12月			平均
		1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
LPG船（VLGC）	中東-日本	50,600	33,400	42,000	39,700	66,900	53,300	47,700

(出所) 石油製品船及びLPG船：クラークソン

## 2. 2021年度(実績・見通し)

(単位：US\$/日)

船型	対象航路	2021年度						通期
		上期			下期			
当社（単体・海外子会社）運航船に関わる市況		2021年4-9月			2021年10月-2022年3月			平均
		4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
原油船（VLCC）	中東-極東	-1,400	-4,100	-2,800	1,800	-1,000	400	-1,200
石油製品船（MR）	主要5航路	5,900	5,700	5,800	3,500			
海外子会社運航船に関わる市況		2021年1-6月			2021年7-12月			平均
		1-3月	4-6月		7-9月	10-12月		
LPG船（VLGC）	中東-日本	43,400	35,500	39,500	22,800	39,700	31,300	35,400

(註)

(出所) 石油製品船及びLPG船：クラークソン

- 1) 黒字は一般市況実績。
- 2) 青字は見通し。見通しは、フリー船（スポット契約や2年未満の短期契約に従事）の損益予想において参照する市況水準。但し、荷主と運賃を合意済みの場合は合意運賃を損益予想に反映。
- 3) VLCCの市況は、中東-中国航路を前提とする。
- 4) 石油製品船の市況は、欧州-北米、北米-欧州、シンガポール-豪州、韓国-シンガポール、インド-日本の主要5航路単純平均。
- 5) LPG船は海外子会社で運航しており、暦年ベース（1-12月）の市況実績を表示。（海外子会社は12月決算であり、3か月遅れて当社連結決算に計上される為。）

# コンテナ運賃市況 (CCFI\*)

[補足資料3]

## 1. 2020年度 (実績)

(1998年1月1日=1,000)

対象航路	2020年度						通期 平均
	上期 2020年4-9月			下期 2020年10月-2021年3月			
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
北米西岸向け	741	937	839	1,150	1,333	1,241	1,040
北米東岸向け	930	1,034	982	1,275	1,493	1,384	1,183
欧州向け	1,007	1,056	1,032	1,471	3,106	2,289	1,660
南米向け	524	549	536	1,190	1,857	1,524	1,030

## 2. 2021年度 (実績)

(1998年1月1日=1,000)

対象航路	2021年度						通期 平均
	上期 2021年4-9月			下期 2021年10月-2022年3月			
	4-6月	7-9月		10-12月	1-3月		
北米西岸向け	1,484	2,051	1,768	2,311			
北米東岸向け	1,757	2,318	2,038	2,527			
欧州向け	3,500	5,092	4,296	5,284			
南米向け	1,846	2,477	2,161	2,924			

\*China Containerized Freight Index

### 1. 2020年度（実績）

（単位：千台）

（完了ベース／航海備船を含む）	2020年度						
			上期	下期		通期	
	1Q	2Q		3Q	4Q		
<b>合計</b> （欧州域内近海輸送も含む）	610	478	1,088	779	840	1,619	2,707

### 2. 2021年度（実績・見通し）

（単位：千台）

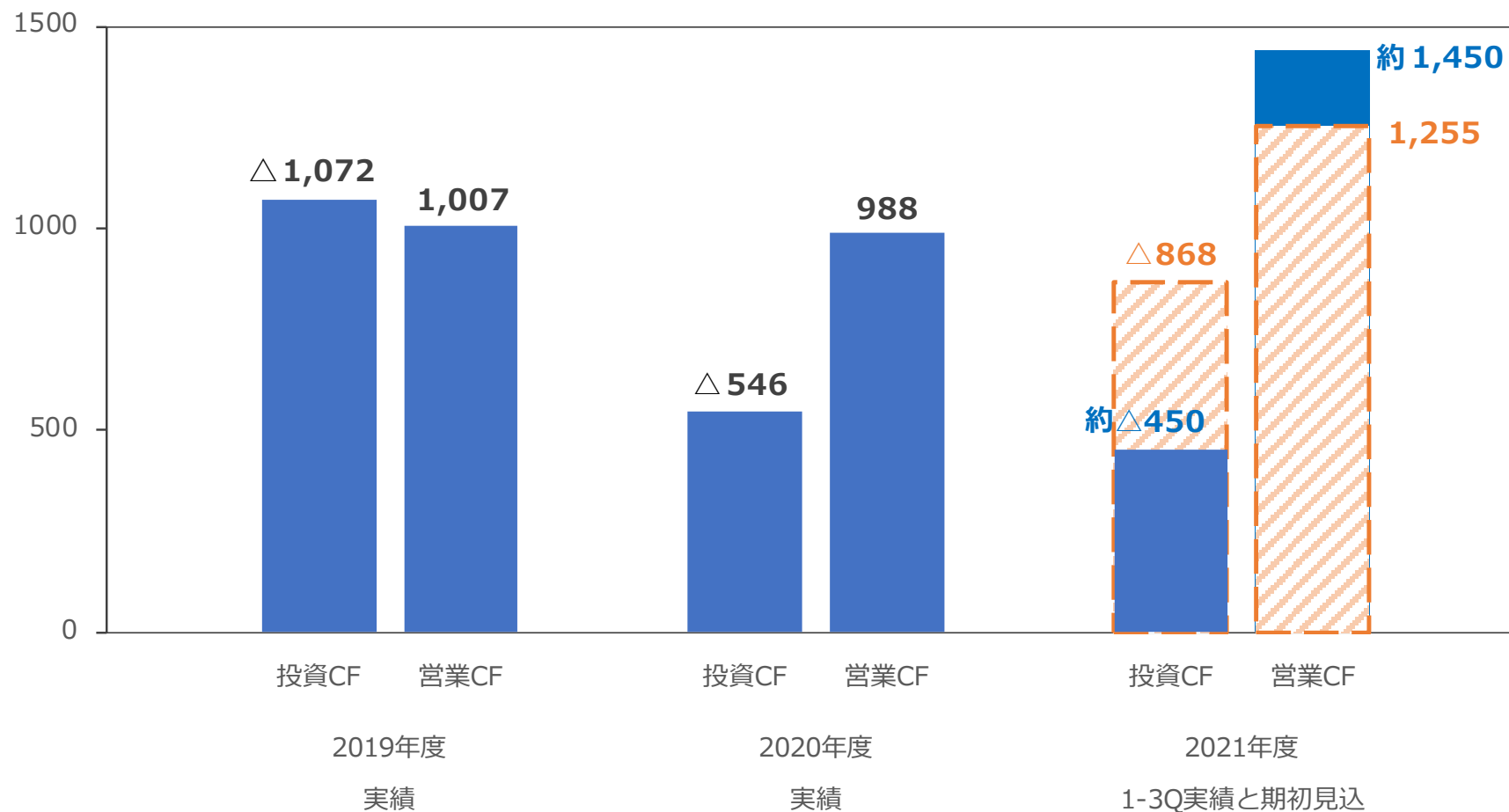
（進行基準／航海備船を含む）	2021年度						
			上期	下期		通期	
	1Q	2Q		3Q	4Q		
<b>合計</b> （欧州域内近海輸送も含む）	792	793	1,585	722	838	1,560	3,145

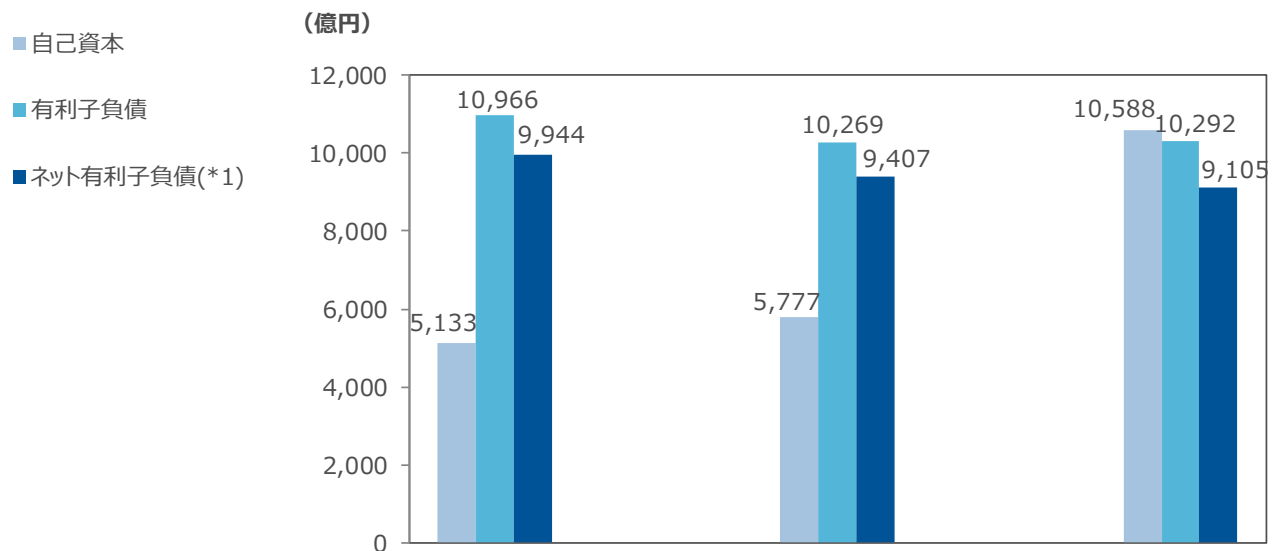
\*青字は見通し



(億円：投資CFはマイナス)

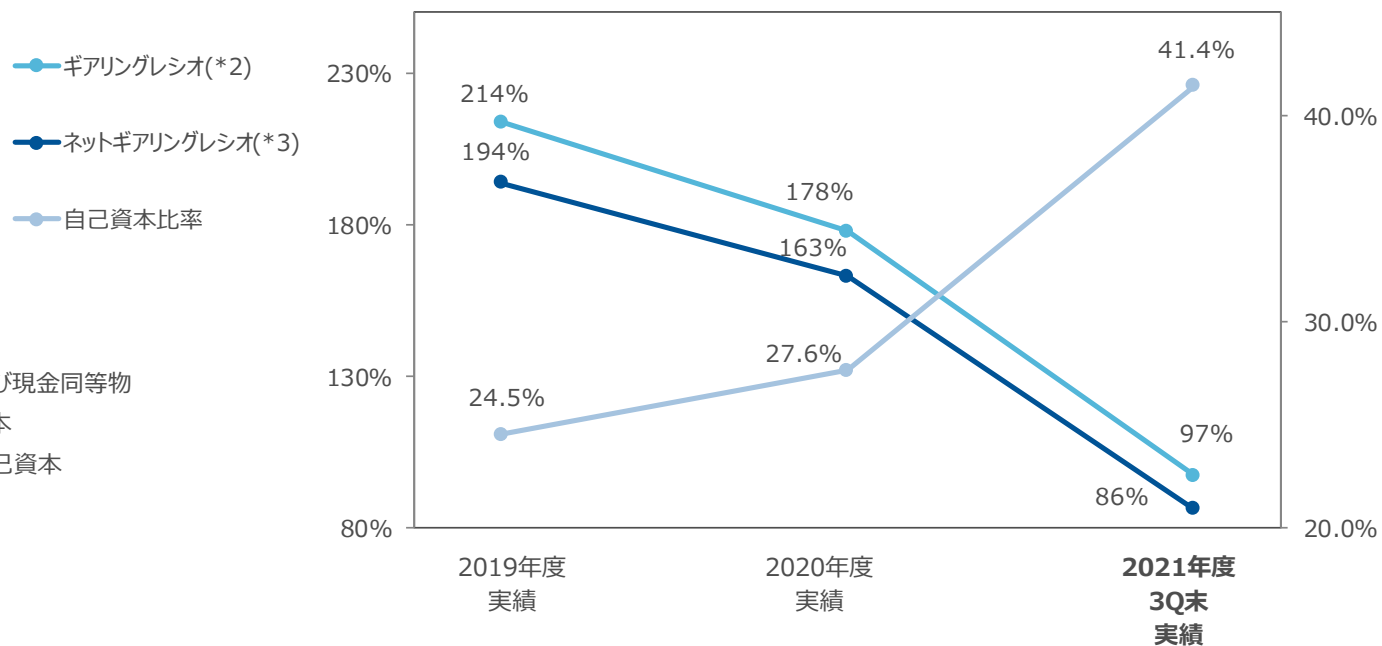
■ 実績    □ 4月30日開示値 (通期)  
3Q実績は簡便法による参考値





[(ネット)ギアリングレシオ]

[自己資本比率]



(\*1)有利子負債 - 現金及び現金同等物

(\*2)有利子負債 ÷ 自己資本

(\*3)ネット有利子負債 ÷ 自己資本

# 船隊構成 (海洋事業含む)

[補足資料7]

		2021年 3月末	2021年 9月末	2021年12月末		2022年 3月末 (見込み)	
				1,000dwt			
ドライバルク事業	ケーブサイズ	81	83	80	15,910	87	
	中小型 一般バルカー	バナマックス	23	30	36	2,976	28
		ハンディマックス	49	51	47	2,648	59
		ハンディサイズ	29	26	25	928	31
		(小計)	101	107	108	6,552	118
	木材チップ船	38	41	41	2,286	42	
	近海船	48	60	49	1,012	50	
	(小計)	268	291	278	25,760	297	
	(内、市況エクスポージャー)	(54)	(50)	-	-	(53)	
エネルギー・海洋事業	油送船	原油タンカー	40	39	37	10,003	37
		プロダクトタンカー	22	21	15	914	14
		ケミカルタンカー	89	85	82	2,103	86
		メタノールタンカー	20	19	22	941	22
		アンモニアタンカー	0	2	3	96	3
		LPGタンカー	9	9	10	524	10
		(小計)	180	175	169	14,581	172
	石炭船	44	40	41	3,803	36	
	洋上風力発電設備設置船 (SEP)	5	5	5	14	5	
	洋上風力支援船 (SOV)	0	0	0	0	0	
	(小計)	229	220	215	18,398	213	
		(内、市況エクスポージャー)	(100)	(82)	-	-	(78)
	LNG船 (エタン船含む)	97	97	97	7,957	97	
	LNG燃料供給船	1	1	2	19	2	
	海洋事業	LNG発電船	1	1	1	19	1
		FPSO	6	7	7	1,689	8
FSU・FSRU		3	4	4	384	4	
サブシー支援船		3	3	3	27	3	
内航船 (内航RORO船除く)	28	27	30	109	30		
製品輸送事業	自動車船	95	95	95	1,652	94	
	フェリー・内航RORO船	15	15	15	85	15	
関連事業・その他	客船	1	1	1	4	1	
	その他	2	2	2	12	2	
小計		749	764	750	56,115	767	
製品輸送事業	コンテナ船	60	55	51	4,974	48	
合計		809	819	801	61,091	815	

註1) 短期備船、J/V保有船を含む。

註2) 『市況エクスポージャー』= 中長期調達船で、2年以上の契約が付いていない船。

註3) コンテナ船はONE社が運航。

